

キャラクター名
桐咲 蛍

プレイヤー名

シンドローム	バロール モルフェウス		ワークス	泥棒	カヴァー	泥棒
	オプション		年齢	18	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	恐怖	初期侵食率	39 %	
出自	貧乏	経験	犯罪	邂逅	殺意(フェルナンド)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	10
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	2	0	0			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	8		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志	1	1	調達		
運転：四輪	4		芸術：色仕掛け	2		知識：レネゲイド	4		情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
栄光と勝利の槍	射撃	4r+7	3	11		射撃武器として使用する場合

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯電話	
思い出の一品	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:遺産継承者P		N		
裕福な市民	P 憧憬	N 敵愾心		
フェルナンド・フランコP	親近感	N 嫌気		
黒猫	P 同情	N 不安		
♂FH	P 執着	N 憎悪		
ボリス	P 親近感	N 隔意		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:モルフェウス	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：	C値-[Lv]							
カスタマイズ	1	2	メジャー	武器	-	白兵/射撃	-	
効果：	ダイス+[Lv]							
クリスタライズ	3	4	メジャー	-	-	シンドローム	100↑	
効果：	攻撃力+[Lv×3] 装甲値無視							
孤独の魔眼	2	4	オート	視界	効果参照	自動	-	
効果：	範囲攻撃の対象を自分のみに							
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果：	攻撃を失敗させる							
オリジナルツール	5	3	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果：	R間選択技能の達成値+[Lv×2]							
巨匠の記憶	1	2	メジャー	-	-	運/芸/知/情/	-	
効果：	ダイス+[Lv]							
カウンター	1	4	リアクション	武器	単体	白兵/射撃	80↑	
効果：	攻撃を行い、勝利した側が命中する							
ディメンジョンゲート	★	3	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果：	空間を繋ぐゲートを生み出す							
万能器具	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	日用品を作り出す							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

幼くして、住む場所も家族も失った。
堂々と押し入ってきた武装兵を見て、何も無いはずの私の家になんでだろうと当時は不思議でならなかった。
けどその疑問もつかの間、胸に銃弾の穴が開いた両親を目の当たりにさせられ途端に何も考えられなくなる。
哀しみや怒りよりも、恐怖に支配されたのか何の戒めも無いのに指先の一本動かせない。
そんな状況で私にも銃口が向けられた…その時だった。
——私と契約しろ。
頭の中に直接、声が響いたのは。
それから私は、常に"勝利者"でなくてはならなくなった。
お母さんとお父さんを殺したあいつらには勿論、惨状を嗅ぎつけて私を悲劇のヒロインに仕立て上げようとする奴やせつかく得た"力"を取り上げようとする奴にだって。
にしてもこの"力"は良いものだった。少し前までただの女の子に過ぎなかった私の手に自然と馴染み、見た目とは裏腹に羽根のように軽い。
その上で威力も抜群で、軽く振り回すだけで目の前の障害が散り行くその様はとても爽快に思えた。
…けれど今思えばそれは手に余る強さだったのかもしれない。
メディアなりUGNなりに捕まっていれば、その後も全てを拒み続けひいては安定した寝床さえもない逃亡生活を送るハメにはならなかったろうに。
そして現在。
生きてく為に食べるにも寝床の確保にも、更には逃亡を続ける為にもお金は必要。
大分この"代償"も自分でコントロールできるようになってきたし、狙い定める相手は富裕層に限定している。
とはいってしまえば定住先を持たず、人から略奪することで生計を立てる日々。
……普通の人間からしても、私は"敗北者"に過ぎないのかもしれない。